

宝珠会 『仏説観無量寿経』

如是我聞

是ノ如ク我レ聞キタテマツリキ。

お釈迦様が入滅なされて後、多数のお弟子様たちが一所に集まり、お経典を取りまとめられていました。その座において阿難尊者が、かつて釈尊の御在世に時、我が、確かに是の如くお聞きしました。という言葉で始まります。

王舎城の悲劇

その時、王舎城に阿闍世という王子がいました。提婆達多という悪友にそそのかされて、父である頻婆娑羅王を七重に囲まれた牢獄へ閉じ込めた。母である韋提希王妃は頻婆娑羅王を深く尊敬していました。密かに食べ物を通して、王に差し上げていました。しかしそれが阿闍世の耳に入り、母である韋提希夫人までも殺そうとしたのです。しかし、側近である月光、耆婆という二人の大臣にいさめられ、母を害することは思いとどまったが、怒りはおさまらず、韋提希夫人を宮殿の奥深くに幽閉しました。

ユーチューブ

現在、浄円寺のユーチューブチャンネルには浄円寺での法座の様子を映像とともに簡単に説明した動画を上げています。法座とは、布敷の先生をお呼びして皆さんと一緒に笑いあり、涙ありと、法話(仏さまのお話)を楽しみながらおあじわいさせていたくださる縁です。



「興味はあるけど、行ったことないし、中々行きづらい」と「法座ってどんな雰囲気なんだろう」と思われた方は、是非動画を御覧ください。2分程度の短い動画ですが、大まかな流れ、雰囲気、霧がわかると思います。そして是非実際に法座に遊びに来てみてください。(動画内の映り込みが気になる方はご連絡ください。早急に対応します) 以前、ご門徒さんに「ユーチューブの動画見ましたよ」と言われました。私が担当し、

最初は馴れない事だらけでしたが、頑張って作った甲斐があり嬉しかったです。ありがたうございます。今後各法座の様子を上げていこうと思います。



幽閉された韋提希は憔悴し、お釈迦様のおられる耆闍崛山に向かい礼拝して申し上げました。「釈尊をここへお呼びするのはおそれおおい事でありますので、どうか愛弟子である目連尊者と阿難尊者をお遣わしになって、私に会せてください」と願いました。

韋提別産

韋提希がその頭を上げ終えない内に、その気持ちをお知りになられた釈尊は、すぐに目連と阿難とともに韋提希の前におでましになられました。

韋提希は釈尊に、「何の罪があつてこのような息子を生んだのでしょうか。釈尊は何故あのような悪人の提婆達多と御親戚なのでしょう。どうぞこのような悩み、苦しみのない、清らかな世界をお見せください」と願いました。

光台現国

そこで釈尊は眉間の白毫から光を放たれました。その光は金色に輝き、広く数限りない世界を照らし、それは釈尊の頭の上に金色に輝く台の形となつたのです。そこには、すべての仏がたの清らかな国土が現れていました。七つの宝でできた国、蓮の花が満ちあふれた国、他化自在天の宮殿のような国、水晶の鏡のような国など、さまざまな国々が現れていました。



実際のYouTube (ユーチューブ) の画面です

←このQRコードをカメラアプリで読み込んでね。動画が見れるよ!

みそ作り体験

今後、ユーチューブに4人のご門徒さんと味噌作りをした(11月中旬頃)様子を上げる予定です。大まかな工程を少しだけ紹介します。まず大豆と米、麦を洗い水に浸して1日おきます。



それを見た韋提希は釈尊に「この、さまざまな仏の世界はいつでも清らかでひかり輝いています。私は今、極楽世界である阿弥陀仏のところへ生みたいのです。唯一の願いは、私にその極楽に生まれるために、心を整え浄土のすがたを想い描く方法をお教ください」と申し上げた。

この一場面を親鸞聖人は三帖和讃の中の『浄土和讃』にてお詠みになられておられます。 恩徳広大釈迦如来 韋提夫人に勅してぞ 光台現国のそのなかに 安楽世界をえらばしむ



さしてさてこの 続きは次回の寺報にて(日高殊恵) 次回の宝珠会 令和3年 2月14日(日) 13時30分より 『正信念仏偈』 なたも、ご参加ください

浸しておいた米と麦を蒸して、容器に移し麹の種を撒いて混ぜ合わせます。麹菌がひろがる(花が咲く)までホットカーペットの上に置き、毛布をかけてあたためます。夜は何度も温度の確認をしなければいけません。

蒸しあがった米、麦は炊き立ての飯のような匂いがしたよー!



麹に花が咲いたら、大豆を6時間くらい茹で、小指と親指で挟んで潰せるくらいまで柔らかくなったら、容器に入れて日当たりの当たらぬ涼しい場所に保管。来年の5月頃には食べられるそうです。

手作り味噌汁が楽しみ!



味噌作り体験した事も、手作り味噌を食べたこともなかったもので、どんな味がするのか楽しみます。たまにはこうしてご門徒の皆さんと一緒に、イベントをするのも楽しくて良いので、詳細は動画にアップしますので、ぜひご覧ください。(帆足童夢)

も対理 枚さ管す。 何さ度す。 布を温で 毛かけは 大切